

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	商工課担当課長 田邊 幹浩	
市民-20	実施事業	勤労者福祉支援事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 商工課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	勤労者福祉	施策の方針	働く環境の充実

1 事業の目的

対象	勤労者
意図	湘南勤労者福祉サービスセンターの活動を支援するため。
効果	勤労者の福利厚生の実現

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

・中小企業勤労者の福利厚生の向上を目的として事業を行う湘南勤労者福祉サービスセンターへ負担金を交付した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	世帯数	83,058世帯	
	事業の対象者数			事業の対象者数	
運営資源状況	決算値(千円)	22,597	21,057	当初予算(千円)	20,601
	国県支出金			国県支出金	
	地方債			地方債	
	その他			その他	
	一般財源	22,597	21,057	一般財源	20,601
	人員配置数	0.2	0.2	人員配置数	0.2
			会計年度任用職員配置数	0.0	
事業経費運営	人件費(千円)	1,597	1,610	人件費(千円)	1,601
	総事業費(千円)	24,194	22,667	総事業費(千円)	22,202
	市民1人当りの経費(円)	137	128	市民1人当りの経費(円)	126
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
		見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input checked="" type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 湘南勤労者福祉サービスセンターの事業費(人件費)のほとんどを占める負担金について、藤沢市、茅ヶ崎市とともに経費節減に向けた取組みを湘南勤労者福祉サービスセンターへ求め、市の負担金支出の節減に努める。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	藤沢市、茅ヶ崎市とともに湘南勤労者福祉サービスセンターと協定を締結し、広域化を継続して安定した会員数を確保することにより、湘南勤労者福祉サービスセンターの安定した運営の持続を図るとともに、中小企業従業員の福利厚生の充実を図ることができた。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	・湘南勤労者福祉サービスセンターが安定した運営が持続できるよう、会員の増加を目指した取り組みについて、計画的な会員加入促進事業の検討が必要である。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	・湘南勤労者福祉サービスセンターにて、加入促進員による勧誘の他、テレマーケティングや新規加入キャンペーンなどにより新規会員加入促進を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・鎌倉市の会員獲得目標値(3000人)に達成しなかったため、安定した運営の継続を目的とし更なる会員獲得の努力を継続する。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	勤労者福祉サービスセンター事業の実施の有無								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	有	有	有	有	有	有	有	有	有

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	勤労者福祉サービスセンター事業については、広く県内各市町が取り組んでいるところであり、中小企業従業員の福利厚生の実現に貢献している。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	湘南勤労者福祉サービスセンターの会員数(鎌倉市内事業所分)					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
中小企業従業員の福利厚生の実現に資するため。	目標値	2,800	2,900	3,000	3,000	3,000	3,000			
	実績値	2,634	2,758	2,775	3,006	2,958	2,928			
	達成率	94.1%	95.1%	92.5%	100.2%	98.6%	97.6%			

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	市内事業所の大幅な増加は見られないため、会員数の顕著な増加は望めないが、引き続き会員増加を目指した促進事業に支援が必要である。
-----------------------	---